

Stand UP!!!! NO.43

2019年6月5日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

計画重視、数字重視の経営姿勢と 職場への責任転嫁は許さない(怒)

2019年度夏季手当

第4回交渉～会社の考え～

中央本部は6月5日に『2019年度夏季手当第4回交渉』を行いました。

会社の考え

- ・新年度に入り対計画99%となりコストも上がっている中で、今年
は中期経営計画2023の初年度であり、鉄道事業部門+8億円、
経常利益+100億円を達成しなければならない。
- ・これまでの組合の主張を踏まえ議論した結果、基準額は「基準内賃
金をベース」にした上で昨年冬の実績を基本として、収入動向を勘
案した上で最終回答を行う。これが現時点の考えである。

組合の主張

- ・災害対応や新人事賃金制度への協力、さらに欠員で職場では悲鳴が
上がっている中で新規採用2年間停止もされた。しかし、不安や不満
がある中で貨物労組組合員として責任を果たしてきた。その頑張り
に
応える強い決意で交渉に臨んでいる！
- ・扶養手当が家族手当となって基準内賃金から外れ、都市手当もA級
地は減額され、基準内賃金が大幅に減少する組合員もいる。したがっ
て、家族手当を算定基準にするよう強く主張する！

会社は100億円じゃ満足せず、140億円の計画を立てています(怒)

いつまでも我慢する気はさらさら無い!!
職場実態を無視した計画を立てる経営姿勢を
糾すために、山場の闘いに結集しよう!